

## 心臓血管外科治療への取り組み

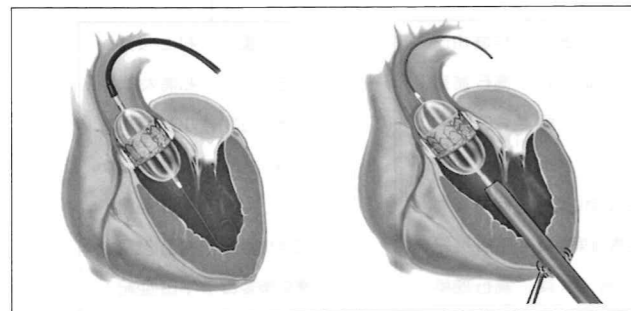
心臓血管外科治療においては、当院の心臓血管外科は1998年から春日井市高蔵寺で治療を行ってきました。透析患者へのシャント手術は1,000例を超え、心臓血管外科手術は650例行っています。時代の変化とともに、大きな傷口での大手術から小さな傷口や血管を通してのカテーテル治療へと進化しています。このような体への負担の少ない手術により、腎不全、糖尿病、高血圧、ご高齢の患者でも昔なら助からなかった心臓血管病を治療することが可能になりました。

狭心症に対しては、カテーテル治療に加えて、ダヴィンチロボットを用いた左肋間小開胸による冠動脈バイパス術を行っています。大動脈弁狭窄症に対しては、右肋間小開胸による大動脈弁置換術や経カテーテル的大動脈弁置換術（TAVI）を行っています。僧帽弁閉鎖不全症に対しては、ダヴィンチロボットを用いた右肋間小開胸による僧帽弁形成術や経カテーテル的僧帽弁クリップ術（MitraClip）が可能です。また、胸部や腹部大動脈瘤、大動脈解離に対してもカテーテルを使用したステントグラフト手術を行っています。これらの血管からの治療により、心臓血管病を治療することができ、患者にとって体への負担が少なく、有効な治療となり、腎不全の患者でも大きな合併症なく早期に退院することが可能です。

今後も私たちは新しい治療法を積極的に開発し、患者への負担が少なく有効な心臓血管外科治療を提供できるよう努めてまいります。今後ともよろしくお願い申し上げます。



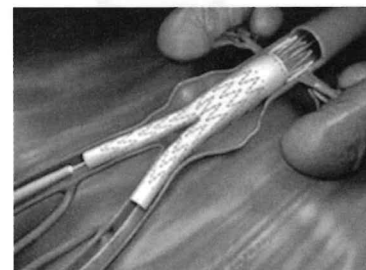
手術支援ロボット「ダヴィンチ」による手術



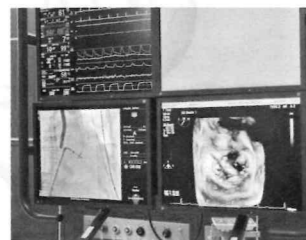
経カテーテル大動脈弁置換術 TAVI



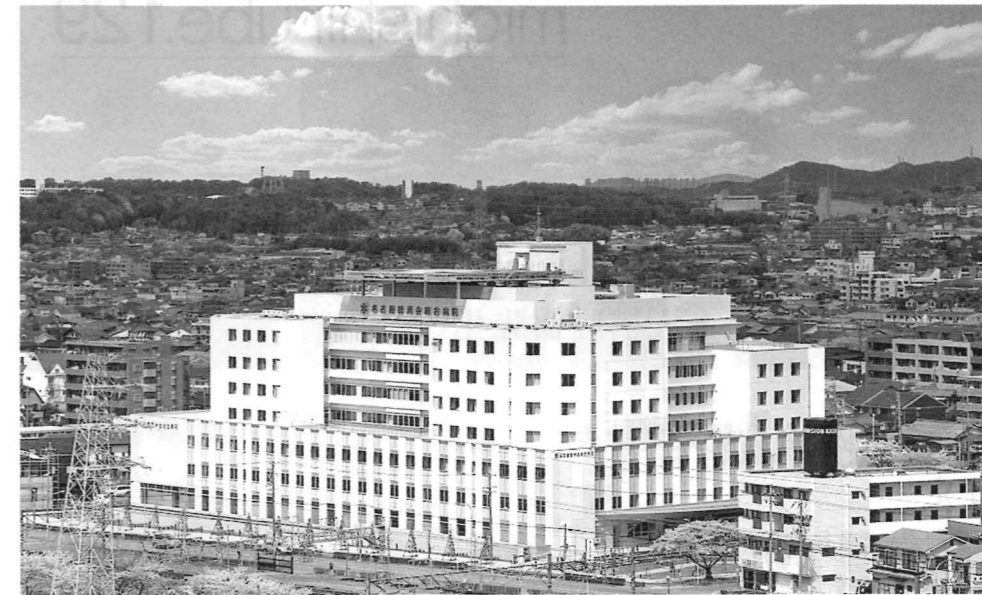
小切開手術（大動脈弁手術）



ステントグラフト手術



経カテーテル僧帽弁形成術（マイトラクリップ）



## 徳洲会の透析医療への取り組み

徳洲会グループは全国75病院を有し、その中で5,600人の透析患者が登録されています。また、私たちは海外への透析医療の支援も行っており、モザンビークでは同国初となる透析センターを開設し、現地医療者の教育を行い、200台近い透析器械を寄贈し、19か国での透析を支援してきました。さらにアジアに対してもインドネシア、タイ、ネパール、ラオス、モンゴル、キルギス、フィリピンなどに透析器械141台を寄贈しています。

また、タンザニアでは、湘南鎌倉総合病院の小林修三院長らのチームによって、2018年に同国初となる現地医師による腎移植が行われ、その後も自身の医療スタッフで20例の成功に導いています。



名古屋徳洲会総合病院 心臓血管外科



大垣徳洲会病院 心臓血管外科

## 大橋 壯樹

おおはし たけき

### 専門分野

大阪大学医学部臨床教授  
名古屋市立大学臨床教授  
日本外科学会指導医・専門医  
日本心臓血管外科学会専門医  
認定植込型補助人工心臓実施医  
ロボット心臓手術実施医

### 略歴

昭和35年 徳島県生まれ  
昭和54年 徳島県立城北高校卒  
昭和61年 大阪大学医学部卒  
昭和62年 大阪府立病院外科レジデント  
平成元年 国立循環器病センター心臓血管外科レジデント  
平成6年 メルボルンアルフレッド病院心臓胸部外科フェロー  
平成8年 亀田総合病院心臓血管外科医長  
平成10年 名古屋徳洲会総合病院心臓血管外科部長  
現在 同総長

# 透析患者さんへの 心臓血管外科治療にのぞむ

医療法人徳洲会副理事長  
名古屋徳洲会総合病院総長  
心臓血管外科部長

## 大橋 壯樹